

介護予防で元気に長生き！

人との交流や運動、体調管理を継続して行うことで、寝たきりや認知症などを予防することができます。早めの気付きと予防の実施で、元気に長生きしましょう！

勝山市の高齢化と介護の現状は左表のとおりです。要支援・要介護状態になることを防ぎ、元気に過ごしていただくため、地域包括支援センター「やすらぎ」では、次のような介護予防健診を行っています。

※介護予防健診 65歳以上のかたに、特定健診または後期高齢者健診と併せて介護予防健診を実施します。基本チェックリスト、問診、血液検査などの検査結果をもとに、対象者には、個別に事業への参加案内や電話での連絡をしています。

1. 運動機能向上
「転んだり、つまずいたりすることが多くなった」「足の上がりが悪くな

った」など、室内外の移動に困難を感じるかたを対象に、体操を交えた転倒予防教室を開催しています。

2. 口腔機能向上
「固いものが食べにくい」「お茶を飲むとむせる」「口の中が乾く」などの症状が気になるかたを対象に、お口の健康教室を開催し、入れ歯の手入れや喉の動きを良くする体操などの教室を行っています。

3. 閉じこもり、認知症、うつ予防支援
「外出することが少ない」「物忘れが気になる」「生活に楽しみを感じない」などの症状が気になるかたを対象に、湯ったりサロンへの通所サービスを勧めるなどの訪問を行っています。

サービスの利用・相談方法
①電話または福祉健康センター「すこやか」の窓口にお越しください
②インターネットでの生活機能チェック（健康長寿ネット）
(<http://www.tyoju.or.jp>)
「介護予防のための生活機能チェック」を実施し、オンラインで結果を送信できます。

問 地域包括支援センター「やすらぎ」(Rg・0900)

勝山市の高齢化と介護状況 (平成20年4月現在)	
65歳以上人口	7,627人
高齢化率	28.1%
要支援・要介護認定者数	1,377人
要支援・要介護認定者割合	18%

要支援・要介護認定の原因疾患 (平成19年度)	
第1位	脳梗塞
第2位	高血圧症
第3位	認知症

ともに思いやりの心を

男女共同参画社会の推進を目指して

勝山市は、平成19年10月27日に男女共同参画都市宣言をしました。これは、全国で94番目の宣言となります。

大垣市で取り組みを紹介

1月30日に「全国男女共同参画宣言都市サミットinおがき」が岐阜県大垣市で開催され、全国の宣言都市から約750人が参集しました。シンポジウムでは、山岸勝山市長など5自治体の首長がパネリストを務めました。

平成17年の国勢調査によると、勝山市は、女性の就業率が53.0%（全国平均46.4%）、共働き率が62.5%（全国平均44.4%）と、非常に高い現状にあります。このことを踏まえ、働きやすい環境づくりのための子育て支援策として、「ふれあいの里・かつやまっ子すくすく育成奨励金」などの取り組みを紹介しました。また、男女がともに思いやりの心を持つことの大切さを訴えました。

市では、平成18年に勝山市男女共同参画推進条例を制定し、それに基づいて、基本計画を改定しました。その中で、家庭・地域・職場・学校・行政においての「勝山市における男女共同参画の目指すべき方向」を定めました。次のような家庭を目指しましょう。

- ①男女が対等に参画し決定する家庭
- ②多様な生き方を選択し認め合う家庭
- ③家庭生活と社会生活の活動が両立できるよう、協力し合う家庭
- ④ドメスティック・バイオレンス（DV、配偶者や恋人からの暴力）のない平和な家庭
- ⑤男女が互いの性を理解し、健康な生活を送る家庭

※DVは犯罪です

女性の活躍に向けて
講演や事例発表を通して、男女共同参画を考えてもらおうと、勝山市男女共同ネットワーク（会長 小寺恵美子）が毎年、かつやまっ子フェスタ

ポスターで男女共同参画を啓発

男女共同参画について、子どもの頃から関心を持ってもらおうと、毎年、ポスターコンクールを実施しています。今年度の最優秀作品です。

※ふれあいの里・かつやまっ子すくすく育成奨励金 勝山市の独自事業で、同一家庭で3人目以降の子どもの保護者に対して、第3子に30万円、第4子に40万円、第5子以上に50万円を支給しています。



本田悠希さん（村岡小5年）の作品▲



西尾奈洋さん（勝山北部中3年）の作品▶

を開催しています。今年度は、「心地いい家族のカタチ」という演題で、主夫をしながら活躍されている、山田亮氏の講演を聞きました。

「まちの駅ネットワーク勝山」がスタート!

市内の「まちの駅」が連携と交流を深めながら、「ボランティアとおもてなしの心」で、多くの人が訪れたいくなるすてきなまちの駅をつくる活動をしよう、3月2日、「まちの駅ネットワーク勝山」が設立されました。今回、7月18日オープン予定の「はたや記念館 ゆめおーれ勝山」を含む市内36のまちの駅が集まったのスタートです。



設立総会の様子

初代会長には松本忠司さんが選出されました。また、1年間の事業計画と収支予算についても協議し、新パンフレットの作成やまちの駅めぐりツアーを開催することなどが決まりました。

設立総会後に活動発表があり、石川県白山市「つるぎまちの駅連絡協議会」辻貴弘事務局長は、「企画は自分たちで手がけることが大事。」と話されていました。まちの駅ネットワーク勝山では、さらに輪を広げようと、まちの駅への加入を呼びかけています。

ご寄付ありがとうございます 車いすの寄贈

1月29日、第一生命労働組合福井営業支部様から、福祉健康センター「すこやか」に、車いす4台を寄贈いただきました。組合員446人からの社内募金や街頭募金で、車いすを購入されたとのこと。



松山副市長に目録を手渡し、第一生命労働組合福井営業支部の皆さん

寄贈式では、赤塚勝己執行委員長が松山副市長に目録を手渡し、「ぜひ役立ててください。」と述べると、副市長は、「勝山市民の役に立つよう利用したい。」と感謝しました。

「すこやか」では、この車いすを、勝山市社会福祉協議会と協力しながら、高齢者や障がい者のかたに貸し出す予定をしています。